

いっしょにあそぼう！ ～指先を使ったあそび～

あそびとは子ども自身の自発性に基づく自由な活動です。あそびの目的は活動自体を楽しむことにあります。子どもは「おもしろい」と感じることはしません。子どもの自発性、主体性を損なわないように、子どもの持っている能力を引き出せるようなあそびを援助していきましょう。

上手に手は使えていますか？

手で体を支えたり、物をつかんだり、投げたり、引っ張ったり、押さえたりすることが豊富にできるようになるにつれ、指の機能だけでなく視知覚機能も育ち、さらに手の活動が上手くなります。

指先が上手に使えるようになることはどんなことにつながるの？

周りにあるいろいろな物で上手にあそべるようになると、あそび方を覚えていく過程で、指先の機能のみならず認知（感覚・知覚・記憶・思考）や言語に及ぶ幅広い心理面の発達が促進されます。さらには、社会性の発達を促す下地が作られることとなります。

どんなおもちゃがいいの？

子どもたちがあそびに使う身近なものがすべておもちゃであるということが出来ます。例えば、ごみであったりティッシュであったりすることもあります。

良いおもちゃとは子どもが夢中になってあそべるものです。発達障害をもつお子さんでは、おもちゃによっては扱いにくく工夫が必要なこともあります。

どんなふうに教えていけばいいの？

まず子どもがどれくらいあそべているかを把握しましょう。人や物に対して関心が少なく、自発的なあそびが少ない場合は、いろいろ働きかける中で、どのようなあそび方に興味を示すかを探しましょう。

おもちゃを見せても使い方がわからない時には、使い方がわかるような言葉かけや使い方を見せてあげたり、手を持って一緒にしてあげましょう。



☆指先を使うあそびとおもちゃ☆

ーあそびの発達ー



ー手作りおもちゃの紹介ー

～リサイクルおもちゃや100円ショップで購入できるもので作ったおもちゃ～

【棒入れ、玉入れ】

ビニールテープを割りばしに巻く ビー玉など

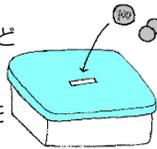


ペットボトル

【コイン入れ】

コインやおはじきなど

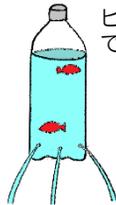
ふたに切り込みを入れる



タッパー

【ペットボトルシャワー】

ビニールテープで飾り付け



水を入れて持ち上げたりひっくり返したり...

【スプーン練習】

消しゴムのおもちゃ



牛乳パック

スプーンで食べさせる

【つまみ練習】



洗濯バサミをつけてとライオンに